

## = アクセサリーに加工 =



図の順番で、各パーツを丸カンで連結する



※ 丸カンは左右に拵げず、前後に開くように！



完成図

## = 作品を長持ちさせるために =

作品にニス塗ると、よごれが付きにくくなり、また水にも強くなります。



アイス本体がしっかりと乾燥してから、筆でニスを塗ります

● ニスは、1度に厚く塗らないことがコツです。「薄く塗って乾燥」を3回位繰り返すと、美しい保護膜に仕上がります。また、時々筆をうすめ液で洗いながら作業すると、ニスの「伸び」がよくなり、ムラなくニスを塗ることができます。

● ニスには、「つや出しニス」と「つや消しニス」があります。お好みに応じて使い分けて下さい。

## = 粘土の接着性について =

粘土と粘土は、一方が乾いていなければ、接着剤なしでも良くくっつきませすしかし、粘土自体に接着性はありませんので、粘土で作ったアイスに9ピン、ラインストーン、市販のパーツなど、金属製やプラスチック製のものを接着する際には、接着剤をつけてから取り付けます。

もしも接着剤でつけた部分がとれてしまった場合には、再度、接着剤をつけて取り付けます。

## 夏色アイス レシピ

関口 真優 「かんたん！粘土スイーツ（ベーシック編・アレンジ編）」、「はじめてのスイーツデコ雑貨」、「Cute！なスイーツデコ雑貨」著者）ホームページ (<http://pastelsweets.com>)

### 1. 材料

#### ① グレイス軽量タイプ (アイス本体)

コーンスターチを原料とした、きめが細かく、弾力性に優れた軽量粘土です。

※ 紙粘土ではありません



#### ② グレイスカラー

着色するためのカラー粘土です。アイスの色によって必要な色が決まります。

- ストロベリー／赤色
- オレンジ／赤色：黄色 = 1:2
- メロン／緑色：黄色 = 1:1
- レモン／黄色
- チョコ／きつね色：茶色 = 1:1



グレイスカラーStick  
(単色1本入り)



グレイスカラー  
アソート (7色入り)

### 2. 道具



- ① 計量スプーン (半球型のもの)
- ② 歯ブラシ (毛先がかためのも)
- ③ 竹串



#### ④ 接着剤 (金属の接着が可能なもの)

例：セメダイン社  
・スーパーX  
・スーパーX2  
・スーパーXG など



#### ⑤ やっとこ、またはラジオペンチ

### 3. アクセサリー加工用品



- ・ストラップ金具
- ・パール (長いチェーンをほぐして使用)
- ・9ピン / 0.7mm × 15mm (3本)
- ・丸カン / 1.0mm × 5mm (3個)

＝ シャーベットアイス (ストロベリー・オレンジ・レモン・メロン) ＝



① 作りたいサイズの4倍の量の粘土を準備する



② 1/4を残し、残りをカラー粘土で着色する



シャーベット用

③ 着色した粘土を3等分し、そのうち2つ分を使用する  
※ 残りの粘土にはラップを!



④ 2つ分を合せた後、ちぎりながら、アイスのもそもそ感をだす。



⑤ 適度にもそもそ感がでてきたら、粘土をかるくまとめる



⑥ まとめた粘土を、計量スプーンに押し込む  
※ アイスらしく見える面を押し込むようにする



⑦ アイスの底面を指で押して、平にならす  
※ 計量スプーンの「ふち」を指で感じとれるくらいまで押します



⑧ 粘土を計量スプーンから、そっと取り外す



⑨ アイス表面を歯ブラシで、こすったり、たたいたりして、アイス質感をだす



⑩ 余分な粘土を、ぐるりと1周ちぎり取る



⑪ ちぎりすぎた場合は、作業台に押しつけた粘土から、竹串で粘土を少しかきとり、アイスに足してゆく



⑫ 竹串でアイスのはみだし部分を表現する



⑬ 接着剤をつけた9ピンをアイスにさす

＝ マーブルアイス (ストロベリー・オレンジ・レモン・メロン) ＝



① 残った粘土のラップをははずす



② 2色の粘土をかるく混ぜて、マーブル模様をだす



③ 粘土をかるくまとめる



④ マーブル模様がきれいな部分を、計量スプーンに押し込む



⑤ 歯ブラシで、アイス質感を表現した後、余分な粘土をちぎり取る  
※ ちぎりすぎた場合の処置はシャーベットと同じ



⑥ 接着剤をつけた9ピンを、アイスの上と下に向かい合わせにさす

＝ チョコアイス の場合 ＝



① すべての粘土を着色し、半分に分ける  
② 一方はシャーベットと同様に作業する



③ 残りの粘土に、グレイスカラー(茶)を少量加え、かるく混ぜる  
以下、マーブルアイスと同様に作業する